

TSUNAGU

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

石切中学校区

石切中学校区では、石切幼稚園・石切小学校・石切東小学校・石切中学校の4校を「Iスクール石切」と称し、全教職員が幼小中の11年間を連続したものとして捉え、「11年間で子どもたちを育てていく」意識のもと、四校園のつながりを大切に、日々の保育活動、教育活動を行っております。

子ども同士のつながりを通じた表現力の育成

石切中学校区では今年度「つながる力」「自分の意見や思いを伝える力」の育成を重点目標とし、異校種間・学校間の交流を軸とした教育活動を実施しています。

安心して自分を表現できる環境づくり

子ども同士がつながり、自分の意見や思いを伝えるためには、まずは『安心して自分を表現できること』が大事であるため、交流では、相手の話をしっかりと聞き、年下の子どもに目線を合わせたりするなど、温かく交流できる環境をつくっています。

運動会ダンス交流（幼小交流）

幼小でダンスを見せ合い、その後互いに良かったところを伝え合いました。大きな拍手に包まれ、温かい雰囲気であらう交流することができました。



みんな一生懸命に踊っていて、素敵でした。

ラグビー交流（幼中交流）

石切中のラグビー部が、幼稚園にラグビーを教えに行きました。園児に目線を合わせ、言葉を選びながら伝える中学生の姿に安心した園児は、楽しそうに中学生の話聞き、質問や意見をしていました。



トライって
いうのは
ね・・・？

やさしく教えて
くれて、
ありがとう！！

考えを整理し深めることで、表現する力を高める

表現力の向上のため、授業で自分の考えを伝えるときには、まずは個人でじっくりと考えを整理してまとめることを重点的に行っていきます。そして、グループ等で伝え合う時間を確保し、自分の考えをより深められるようにしています。

個人で整理→交流→深める＝表現力の向上

国語の授業では、まずはノートやロイロに自分の考えを整理し、グループで交流することで、自分の考えを深めています。



ノートに書いて整理したので、しっかりと自分の考えを伝えることができました。

小6の中学校登校（小小交流）

中学校登校では、初めて会う新しい友だちにも自分の思いを上手に伝えられるように、石切小と石切東小で「混合クラス」をつくっています。



初めての友だちにも、伝えたいことを伝えられました。

豊かな表現力を身に付ける

中学校では、幼小からの学びの積み重ねを引継ぎ、さらに深めています。その教育活動の一つに俳句作りがあります。自分が伝えたいことや思いをきちんと整理し、5・7・5の俳句で表現することで、豊かな表現力を身に付けます。

石切中では、行事ごとに俳句づくりを実施しています。安心して表現できる環境があるから、生徒は自信をもって句を互いに詠み合うことができます。中学校登校でも小6児童は俳句の授業を経験し、俳句を詠み合っています。

石切小・石切東小（中学校登校で詠まれた小学6年児童の句 R5年度）

- 夏の昼 汗と一緒に 目的地（遠足のこと）
- 夏の雲 命のもろさ 伝えゆく（修学旅行のこと）

石切中学校最優秀句（卒業を控えた中学3年生徒の句 R4年度）

- 足らぬ袖 終わりを告げる 卒業か
- 岐路に立ち 春風吹きて 我が道へ

中学生の俳句は、さすがだなあ。

次はこんな俳句を詠んでみたい。



中学校登校で俳句の授業を受ける6年生

玉川中学校区の特色ある取組み



玉川中学校区は岩田こども園、岩田西小学校、玉川小学校、玉川中学校があり、4校園の教職員同士で協議を重ね、玉川中学校区のエンブレムを作りました。梅の花びらで4校園を表現し、真ん中のめしは4校園のそれぞれの頭文字「I」「I」「T」「T」で表現しています。

中学校区でつながる『わ』

玉川中学校区では様々な教育活動で校種間・学校間の交流を行い、玉川中学校区のエンブレムのような『わ』でつながる中学校区をめざしています。

平和学習を通してつながる『わ』

玉川中学校区では5年前より人権教育の柱を「平和学習」に設定し教育活動を実施しています。

【岩田こども園】

8月には平和に関する絵本の読み聞かせやビデオの鑑賞を行いました。

園児から「友だちと仲良くする」「けんかしない」などの感想がありました。

読み聞かせの様子



【岩田西小学校・玉川小学校】

「平和について」調べ学習をしたり、被爆体験の方への聞き取り学習を行うなど、系統立てた平和学習をしています。そして6年生は修学旅行へ行き、平和についてのこれまでの学びをつなげ、さらに考えを深めました。

【玉川中学校】

「平和」についてのこれまでの学びを「知識」として終わらせることなく、社会の担い手としてこれから何が出来るのかを自分事として考えています。また、生徒会が中心となって「自分たちにも何かできることはないか」と考え、昨年度はユニセフ支援ギフトの取組みなどを行いました。

そして、玉川中学校区では、園児・児童・生徒が一緒に『平和への思いや願い』を込めて折り鶴を折り、中学校区代表として小6年生と中3年生に託す「折り鶴交流」を実施しています。

今年度はコロナが明け、『千羽鶴』と『平和を象徴する鳩、平和の火、虹をモチーフにした平和パネル』を作成し、4年振りに平和への思いや願いを届けることができました。



小6が千羽鶴を届けました

中3が平和パネルを届けました

中学校登校でつながる『わ』

令和4年度に中学校登校を経験した中学1年生を対象に『中学校登校でやっておいた方がよかったこと』についてアンケートを実施した結果、多くの生徒が「交流」と回答していたため、今年度は様々な「交流の機会」を計画しました。

1. 校舎探検・クイズ（児童と先生との交流）

校舎探検では玉川中に関するクイズに答えながら校舎を歩きました。児童は校舎に掲示された中学校の先生の自己紹介一覧を見て先生を捜して話しかけたり、クイズのヒントをもらいに先生に聞きに行くといった場面が多く見られました。

先生のプロフィール



2. 職場体験報告会・クラブ体験（小中交流）

中学生が体験先ごとにプレゼン資料を作成し、クイズなどを交えて報告会を行いました。また、クラブ体験では、緊張している6年生に中学生が優しく教えていました。

3. モルック体験（小小交流）

小学生同士が中学入学前に交流することを目的にモルック体験交流を実施しました。子どもからは仲良く協力しあってゲームが出来たのでよかったなど思いました。モルックが楽しかったです。別の小学校の子とも仲良くなれた気がしました。などの感想がありました。

モルック体験

